



経済学者から 学ぶ母乳育児



母乳育児と経済?! そこにどんな関係が?! この2つの言葉をめぐる世界の情勢を考える



女性が活躍する社会を、と言われる昨今。これまでは伝統的な性別役割分業意識から「家事と育児は女性の仕事」と考えられていましたが、女性の就労やライフスタイルなども含めて「経済」という切り口で見ると、女性と子どもの権利や幸福が見えてきます。この分野での第一人者、WHO専門アドバイザーでもあるジュリースミス博士が、この関係性を読み解きます。



講師：ジュリー・スミス博士
オーストラリア国立大学准教授
世界保健機関(WHO)専門アドバイザー

専門：健康とコミュニティにおけるサービス、公共政策、公衆栄養介入、ヘルスプロモーション、健康経済学、コミュニティにおける子どもの健康、公共経済財政と歳入

[瀬尾智子(小児科医、国際認定ラクテーション・コンサルタント)が通訳をしますが、スロの通訳ではありませんのでご了承ください]

日時：2018年10月13日(土) 13:00-16:00

ところ：日本赤十字看護大学211号室(広尾キャンパス)

参加費：1500円(事前申し込み金額 10月10日まで) 当日参加は2000円

定員：80人

お申込みはこちら



<https://i-hahatoko20181013.peatix.com/>



「母と子の育児支援ネットワーク」は、災害時も平常時も含めた乳幼児期の栄養法(IYCF: Infant and Young Child Feeding)についての適切な情報が母親だけではなく社会にも広がることを目的としたネットワークです。

母乳で育てたい女性が適切で十分な支援や保護が受けられる社会的環境を整えること。必要な場合には適切な情報に基づいて、母乳代用品(乳幼児用ミルク)を安全に用いることができるような支援がおこなわれること。

当事者である母親の声を大切にしながら、すべての乳幼児が安全で十分な栄養をとって健やかに育つように、社会に向けて働きかけ、母と子のための支援のネットワークを広げていきたいと願っています。

主催：母と子の育児支援ネットワーク i-hahatoko.net

NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会

NPO法人ラ・レーチェ・リーグ日本

母乳育児支援ネットワーク

災害時の母乳育児相談
～援助者のための手引き～



発行
災害時の母と子の育児支援 共同制作委員会
2018年9月 第1版